



農林中央金庫



SSIL
宇宙サービスイノベーションラボ

2026 年 7 月 22 日

農林中央金庫

宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合

宇宙技術で日本の農林水産業の未来を共創する、 事業アイデアコンテスト「衛星データ活用アワード 2025-2026」受賞発表

～最優秀賞は、『TWINZ Plus：衛星×気象データで農地ポテンシャルを可視化し、適地適作をアップデート』に決定～

農林中央金庫（以下、「農林中金」）、宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合（以下、「SSIL」）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、「NEDO」）協力のもと、宇宙技術を農林水産業に活用する事業アイデアコンテスト「衛星データ活用アワード 2025-2026」（以下、本プログラム）の受賞者を発表しました。

本プログラムは、衛星データ等を活用して農林水産業の課題解決を推進する技術開発コンテスト「NEDO Challenge, Satellite Data -農林水産業を衛星データでアップデート-」との共同開催により実施されたもので、主催者:SSIL、協力:NEDO、メインスポンサー:農林中金の体制で運営してまいりました※。

多数のご応募をいただいた中から、一次審査、最終審査にて厳正な審査を重ねた結果、最優秀賞に Penguin Labs 合同会社の『TWINZ Plus：衛星×気象データで農地ポテンシャルを可視化し、適地適作をアップデート』、審査委員特別賞に麒麟ホールディングス株式会社の『スペーステロワール ～衛星データによるテロワール可視化で地域と農家の想いを伝えるビジネスへ～』を選出いたしましたのでお知らせいたします。

※2025 年 8 月 18 日リリース：「[宇宙技術で日本の農林水産業の未来を共創する、事業アイデアコンテストを始動](#)」

1. 本プログラムの概要

プログラム名		衛星データ活用アワード2025-2026	
募集 テ ー マ	協賛企業(農林中央金庫)の募集テーマ	農林水産業の「稼ぐ力」や持続可能で「強靱な食料システム」の実現に向けたアイデア	
	NEDO Challengeとの共通テーマ	1.生産現場の課題解決に資する事業アイデア	
		2.資源の管理・監視および物流の高度化に資する事業アイデア	
プログラム実施期間		2025年8月18日(月)～2026年7月15日(水) 表彰式：2026年7月15日(水)	
表彰・賞金		最優秀賞300万円、審査委員特別賞10万円	

公式サイト URL：<https://space-data-challenge.nedo.go.jp/aff/>



2. 受賞アイデア

■最優秀賞

代表法人名：Penguin Labs 合同会社

提 案 名 称：TWINZ Plus 衛星×気象データで農地ポテンシャルを可視化し、適地適作をアップデート

提 案 概 要：「農地のポテンシャルを衛星×気象データで引き出し、適地適作をアップデートする」というコンセプトのもと、2025 年 1 月にリリースした世界各国の気象データを活用した適正作物レコメンドサービス「TWINZ」に、新たに衛星データ（土壌水分量等）、土壌・地形情報、2100 年までの気候変動シナリオを統合した「TWINZ Plus」を開発し、科学的根拠に基づいた農地一筆単位での最適作物提案の実現を目指します。

<アイデアの概要イメージ>

TWINZ Plus

衛星×気象データで、**農地の未来価値**を“格付け”する意思決定プラットフォーム

どこで、何を、いくらで作るか。
気候変動時代の農業投資を、**データ**で判断する。



大葉が、発芽しなかった日。
そこから、地球の農業を
変える**挑戦**が始まった。

気象だけでは見えない農地の
本当のポテンシャルを、
衛星・土壌・AI・2100年予測で
可視化します。

農地の未来価値スコア

農地ポテンシャル	★★★★☆ 4.3
作物適性	★★★★☆ 4.2
将来気候リスク	★★★☆☆ 2.6
投資判断	A- ~ 有望

総合格付け **A- (有望)**

農地ポリゴン

土壌水分

気候リスク

将来予測
(~2100年)



3. 審査について

一次審査、最終審査いずれも下記の審査基準に基づき、審査員による審査を実施しました。

(1) 事業スコープの妥当性	募集したテーマに基づき、宇宙技術を活用した事業を創出する内容であるか
(2) 事業の実現性・収益性	事業仮説が立てられており、投融資対象としての可能性があり将来的に収益が見込まれる内容であるか
(3) 事業の技術の妥当性	提案されたアイデアに利用もしくは開発するシステムについて衛星データの利用に関する技術は実現可能なレベルにあるか
(4) アイデアの革新性	これまでにない革新性のあるアイデアであるか
(5) 実用化による社会発展性	提案されたアイデアは拡張性や将来性が大きく見込めるものであるか

4. 農林中金としての今後の展開

農林水産業を取り巻く課題が高度化・複雑化するなか、その解決手段としてテクノロジーの重要性が高まっています。こうしたなか、農林水産業への活用ポテンシャルが期待される宇宙技術、とりわけ衛星データに着目しています。

一方で、衛星データの活用ポテンシャルは高まっているものの、衛星データを利用して農林水産業の課題解決につなげ、さらに持続可能な事業として成立させるためのユースケースは、現状十分とは言えません。農林中金と本プログラムの受賞企業をはじめとする有望な企業との共創や、SSIL、NEDO との継続的な連携を通じて、ユースケースの創出を後押ししていきます。

今後は、宇宙技術を有するスタートアップ企業への事業投資や、スタートアップ企業や事業会社等との連携を通じて、宇宙技術と農林水産業の現場をつなぐ事業創出・ハブ機能を発揮し、「衛星データ×農林水産業」を軸に、農林水産業の変革につながる新たな事業創出に挑んでいきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班
(蔵方・丹羽) Tel : 03-6362-7172

宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合
(千束) Tel : 03-4334-6854